





湖陵の特徴を生そ

を札幌視察 手塚愛子談



(手塚愛子さん)

先月私は他の四人の友人と共に札幌各高等学校生徒会活動の状況を視察する目的で(湖陵と比べてどうであるか又女子はどの様に活動して居るか)と非常な興味と期待で、札幌へ行って参りました。湖陵生徒会の充実と発展のためより多くのものを学び取って来ようと思ひ込んで行つたわけですが、二、三の感想とは云えないうまでも特に女子の立場から見て来た事感して来た事を思いのたま、述べてみます。何んと言つても第一に云える事は札幌の各高校(北南

西)に於ける生徒会の組織がこの湖陵と比べて非常に変わつて居るという事です。それらの主なるものは、一、最高議決機関は生徒大会である事。二、会長が公選される事。三、会長が公選される事。四、評議員は各級男女差別なく代議制に依つて選出された二名の代表と議長等の計三名に依つて構成されている事。

子の間の服装統一の強い要求から生れたものです。生徒会活動に対する直接的関心は欠けて居ると云つても各方面に女子はしつかりした動きを見せて居りました。又特に感じられたのは廊下で行き交う女子の生徒から非常に落ち着いた感じを受けた事、家政方面の設備が充実して居る事、古くとも校舎が清潔だった事等でした。最後に云える事は、湖陵は決して劣つて居ない、と云う事です。



写真説明 去る十八日全校挙げての川湯遠足風景で、硫黄山前休息の一コマ、後方に点々と見えるは登山する人々。

討論改善して行く必要があり「湖陵」の持つて居る悪い点を否定し、本日の湖陵の特長を生かして行く事はより大切な事だと思ひます。登山する人々。

対斜里高戦 六月十日本校に斜里高校バドミントン部が遠征して来、第二体育館に於いて本校軍と對戦、本校に牛耳られて退散したが、スコアは次の通り。

陸上競技部 合宿練習終る 来る七月八日の市民運動會を目前にひかえて、本校陸上競技部は、三日間の合宿を行い、選手との技術の向上に懸命になつて居るがそのメンバーなるものをのぞいてみよう。

二週間に渡る熱戦 クラス對抗運動終る 春季体育大會クラス對抗野球、バスケットが、二週間に渡る熱戦の末、野球には、二G、バスケットには三B(男)、三B(女)がそれぞれ優勝したが、結果は次の通り。

今もう一度自覚せよ 去る十八日全校挙げて川湯温泉に遠足したが、高校生として恥ずべき事実、直にこの欄を通して全校生徒に反省をうながしたい。「この列車は〇年Aの者だけだ」、「人員を調査する」、「Aは居るか」、「Aは居るか」と怒号する如くわめき、どと怒る声は私に耳に届いた時、私は情けない思いで全身から力が抜けて行くのを感じた。二高生よ自覚せよ、この言葉は弁論大會がある度に叫ぶべきことだ。今もう一度この事を考える。「人員を調査する」等と云われるのは、小学校の生徒であつて、我々は高校生なのだ。それだけに我々は自覚せねばならない。

Table with sports scores: 市橋 2 (111) 1 (1) 堀口, 湖陵 (女子) 斜里, 東 0 (106) 1211 2 松田, 湖陵 (女子) 斜里, 青山 2 (1515) 4 4 0 藤井, 湖陵 (女子) 斜里, 市橋 2 (111) 3 0 小坂, 佐藤 2 (111) 5 0 花田, 和田 2 (111) 8 0 堀口, 湖陵 (女子) 斜里, 東 0 (106) 1211 2 松田, 市橋 2 (111) 1 (1) 堀口

Table with sports scores: 走高跳 門、渡辺, 三段跳 門、渡辺, 砲丸投 川上、太田, 四百米 R 中野、山本, 四百米 R 外館、滝沢, 千六百米 R 男沢、吉田, 中野、生田目

Table with sports scores: 野球 決勝戦, 0 0 0 2 0 1 0 3 5 11, 0 0 0 1 0 1 0 0 4, D O I O I I O O I O 4, B A T T E R Y, 二 G 熊木、佐渡、仁井田, 三 D 神田、木間, バスケッ ト 男子決勝, 三 E 3 (1825) 1 2120 4 3 B, 女子決勝, 三 B 2 (1013) 1 117 1 8 3 G

投書箱 「Aは居るか」と云われて集まるのではなく、もう少し自主的に行動し高校生としての自覚とプライドを持つべきではないか。否持たねばならない。この事をよく考え反省して、今後の遠足、集會に備えるべきだ。二年A

新任先生プロフィール

岩田 弘一 昭和二年三月二八日 東京都四谷區三栄町 東京高師、なし 富士見町七二寄宿舍 世界史。

清水 不二也 昭和五年一月一日、長野縣諏訪、東京教育大學 東京高師生物學科、動物、讀書、富士見町七二寄宿舍、國語科。

菅原 孝 昭和二年四月二日、立仙台、大日大医科中退、立教子科三年、立正大文學部

高野 芳江 大正十五年一月二五日、札幌、札幌医科大学附屬病院保健婦養成所、浦見町三の一四。

久田 良子 昭和四年八月二十日、學部、音楽、浦見町、久田 良子

藤岡 先生 大正七年七月十五日、北海道中川郡美深町、名寄中學、東京高師、東京文理大學、一人静かに飲む

三上 定治 大正十五年九月二日、大阪市東院川區大町、學大三年在學中、讀書、住吉町一九、南すぎ方、英語。

青山 ますえ 明治十四年四月十四日、宮城縣石巻市、東京帝國女子專門學校(相模女子大)手藝、料理、音楽、劍路市富士見町三三六、家庭科。

山沢 貴士 昭和二年十一月三日、北海道函館、早大文學部

沖口 三郎 一九一〇年八月八日 四國愛媛縣の島 國學院大學 自分で出来るのが好きなもの、歌舞伎、文學、プロ野球、ラグビー、寄席(古典的な)読書(川端井伏等)中華料理。自分でいくらかやれるもの(但し下手の横好き)スポーツは打撃、近頃やめたが俳句は二十年やつても一向にうまくならない。住吉町八二、國語。

千葉 賢一 昭和二年六月二日、十勝國河東郡土幌村、東京高師數學科、これと言つてなく何でも手を出す方 富士見町七二寄宿舍、長繩 哲郎 大正十四年十月十八日、横浜市、中央大學經濟

久田 先生 北海道釧路、立立高女日本女子大學國文科、なし、國語。

三上 先生 事が好き嫌いなものは人の顔を見る事、住吉町八二、世界史。

山沢 先生 運動、寄宿舍、英語、鈴木 憲治 昭和三年九月十五日、東京都淺草、明治大學、なし、湖陵寄宿舍、商業、社會、英語。

青山 先生 明治十四年四月十四日、宮城縣石巻市、東京帝國女子專門學校(相模女子大)手藝、料理、音楽、劍路市富士見町三三六、家庭科。

山沢 先生 運動、寄宿舍、英語、鈴木 憲治 昭和三年九月十五日、東京都淺草、明治大學、なし、湖陵寄宿舍、商業、社會、英語。

山沢 先生 運動、寄宿舍、英語、鈴木 憲治 昭和三年九月十五日、東京都淺草、明治大學、なし、湖陵寄宿舍、商業、社會、英語。

掃除の採点決定 五月三十一日、第四回厚生委員會を開き、春から夏にかけての掃除徹底について協議し左記を決定した。校内清掃の徹底にあたり厚生委員會日誌を作成し一日四人位の割合で厚生委員が校内を巡り、点数を優、良、可、で採点し備考等も書き、一ヶ月に一度厚生委員會を開き、月々の目標を定めより良い學校にする様心掛ける。

★衣料品の御仕度は★ 株式会社 北村吳服店 皆様のトへ 電話六九番

ジューキミシン 政府の認定—通産省主催本年度全國優秀ミシン メーカー技術審査會に於て...最上位大臣賞獲得 田島ミシン商會 電話 1.587番



# 自己嫌悪について

—否定の否定への段階として—

相 澤 創

およそ人間は自分の生活何ら発展の可能性がある見出しに満足を感じることが稀で、唯あるものは絶望であり、自己は何らかの意欲で満たされたいまゝに生活してゆくの常である。自己嫌悪は本来この様な人間が当然持ち得るべき現象に他ならないのである。従つて問題はこれをどう把握し、どの様に追求すべきかという点にある。自己を自己発展の一段階として、いかに握むかという点に問題がある。

「嫌われる自分」とは同じ言葉で表わされているが、果して同一の自己か否かという二つの自己に於ける関係については、グアレルイも、どこかで云つて居る様に、嫌むべき問題である。然し少くとも嫌む自分は何らかの意味で嫌われ自分よりは、一段上である。この事は更に、自己嫌悪が自己否定に於けるものとして、否定された自己の事を示している。

自己嫌悪は、これを心理学的に行爲でなく、自己嫌悪の反動は愛であり、自己嫌悪が愛の「良くない」と認められたことからの自己嫌悪である。デカルトは「愛と嫌む、或るよきものに己れを結びつたかと思ふ情念である」と云つて居るが、自己嫌悪が愛と同一であること示している言葉に他ならない。結局自己嫌悪は理想化された人間のイメージへの憧憬である。

「人間の進歩過程の一環である」と云い、「要するに徹底的な意志が一面性と偏狭を底の志向するものである」と云う。これは現代の多岐にわたる個性の発露である。その根拠を彼はトインビーの言葉を引用して説明し、その可否は別として、人間の進歩過程の一環である。歴史的な流動を考へるとき、ボク達は現代に於ける多くの偏見思想を発見する。この通信報道の機関のすべてが時の権力に掌握されている現代に於ける情勢に抗することは至難なことに違いないが、眞の論争は常にあり得るべきである。彼が

「人間の進歩過程の一環である」と云い、「要するに徹底的な意志が一面性と偏狭を底の志向するものである」と云う。これは現代の多岐にわたる個性の発露である。その根拠を彼はトインビーの言葉を引用して説明し、その可否は別として、人間の進歩過程の一環である。歴史的な流動を考へるとき、ボク達は現代に於ける多くの偏見思想を発見する。この通信報道の機関のすべてが時の権力に掌握されている現代に於ける情勢に抗することは至難なことに違いないが、眞の論争は常にあり得るべきである。彼が

# 薄田研二に聞く 演劇を正科に

我が國の新劇 地位を保持す 協同演劇の来 機に、本校 三幕を全校生徒 徒に観覽させ だが、感動も さま切らぬ公 演直後、記者 は薄田研二さ んにインタビューしたの が、

「劇路へは初めて来たが、地方演劇が盛況をきわめていると聞いてうれしく思つた。日本人はなれのした堂々たる体軀とエキゾチックな面貌—上品なメガネの底に覗く深いまなざしをたてて先生は静かに語り始めた。

「劇路へは初めて来たが、地方演劇が盛況をきわめていると聞いてうれしく思つた。日本人はなれのした堂々たる体軀とエキゾチックな面貌—上品なメガネの底に覗く深いまなざしをたてて先生は静かに語り始めた。

「劇路へは初めて来たが、地方演劇が盛況をきわめていると聞いてうれしく思つた。日本人はなれのした堂々たる体軀とエキゾチックな面貌—上品なメガネの底に覗く深いまなざしをたてて先生は静かに語り始めた。

「劇路へは初めて来たが、地方演劇が盛況をきわめていると聞いてうれしく思つた。日本人はなれのした堂々たる体軀とエキゾチックな面貌—上品なメガネの底に覗く深いまなざしをたてて先生は静かに語り始めた。

「劇路へは初めて来たが、地方演劇が盛況をきわめていると聞いてうれしく思つた。日本人はなれのした堂々たる体軀とエキゾチックな面貌—上品なメガネの底に覗く深いまなざしをたてて先生は静かに語り始めた。

「嫌われる自分」とは同じ言葉で表わされているが、果して同一の自己か否かという二つの自己に於ける関係については、グアレルイも、どこかで云つて居る様に、嫌むべき問題である。然し少くとも嫌む自分は何らかの意味で嫌われ自分よりは、一段上である。この事は更に、自己嫌悪が自己否定に於けるものとして、否定された自己の事を示している。

自己嫌悪は、これを心理学的に行爲でなく、自己嫌悪の反動は愛であり、自己嫌悪が愛の「良くない」と認められたことからの自己嫌悪である。デカルトは「愛と嫌む、或るよきものに己れを結びつたかと思ふ情念である」と云つて居るが、自己嫌悪が愛と同一であること示している言葉に他ならない。結局自己嫌悪は理想化された人間のイメージへの憧憬である。

「人間の進歩過程の一環である」と云い、「要するに徹底的な意志が一面性と偏狭を底の志向するものである」と云う。これは現代の多岐にわたる個性の発露である。その根拠を彼はトインビーの言葉を引用して説明し、その可否は別として、人間の進歩過程の一環である。歴史的な流動を考へるとき、ボク達は現代に於ける多くの偏見思想を発見する。この通信報道の機関のすべてが時の権力に掌握されている現代に於ける情勢に抗することは至難なことに違いないが、眞の論争は常にあり得るべきである。彼が

「人間の進歩過程の一環である」と云い、「要するに徹底的な意志が一面性と偏狭を底の志向するものである」と云う。これは現代の多岐にわたる個性の発露である。その根拠を彼はトインビーの言葉を引用して説明し、その可否は別として、人間の進歩過程の一環である。歴史的な流動を考へるとき、ボク達は現代に於ける多くの偏見思想を発見する。この通信報道の機関のすべてが時の権力に掌握されている現代に於ける情勢に抗することは至難なことに違いないが、眞の論争は常にあり得るべきである。彼が

「人間の進歩過程の一環である」と云い、「要するに徹底的な意志が一面性と偏狭を底の志向するものである」と云う。これは現代の多岐にわたる個性の発露である。その根拠を彼はトインビーの言葉を引用して説明し、その可否は別として、人間の進歩過程の一環である。歴史的な流動を考へるとき、ボク達は現代に於ける多くの偏見思想を発見する。この通信報道の機関のすべてが時の権力に掌握されている現代に於ける情勢に抗することは至難なことに違いないが、眞の論争は常にあり得るべきである。彼が

# 鉄柵子の彼方

主演をつとめる少女ヴェラ・タルキはフランスのニール・ジャン・ギャバンが得意な役でフランスから船で逃亡を魅了させた。ネ・クレマンが監修しているとき、料理店で一九四九年に監督したの作品である。



この作品は「靴みぎ」のチエ・ザグアツチニとエザレ・ザグアツチニと「平和に生きる」のチエ・ザグアツチニと「レッド・ゲア」の三人が監督した。田園交響楽のジャン・オウラが書き、音楽はロマン・ウツドが担当している。

# 良書紹介

四世同堂 日本軍占領下の北京を舞台にくりひろげられる新生中日のレジスタンス文学として珠玉の作品である過去における中国人の苦惱の歴史を描いてあり、日本人の心して読むべき書である。

「悔感」第一部「悔感」第二部「悔生」(各上下)よりなつて居る。

# 堀辰雄の文学

堀辰雄を知るようになったのは、昨年の春ふと読んだ「ルビーの心」だ。これほど悲劇のまつた中に躍り入らんとし、涙の光—あのレングランの晩年の絵のまつているような、淡い不確かなそこに酔つて来たというふうな、どうやらボクも、この辺で少なからず誇張だが、少なからず彼の作品の基調をなしている要素について考へてみたいと思ふ。

彼の作品は、それを表現する言葉が見当らぬほどの深さをもつたものに違いないが、感じをたどつて云い、感しをたどつて云い、表すならば、誰かも云つたように「散文で書かれた最も純粋な詩」と書かれたのである。あのデリケートなニュアンス……しかし彼の作品に貫かれて居るものは、氣高くも静かな限りなく美しい詩情ではなからうか。彼の描く世界は生と死とが渾然として融け合つたときのみ発見し得る。純粋な人間のノスタルジヤの世界である。

「人間の進歩過程の一環である」と云い、「要するに徹底的な意志が一面性と偏狭を底の志向するものである」と云う。これは現代の多岐にわたる個性の発露である。その根拠を彼はトインビーの言葉を引用して説明し、その可否は別として、人間の進歩過程の一環である。歴史的な流動を考へるとき、ボク達は現代に於ける多くの偏見思想を発見する。この通信報道の機関のすべてが時の権力に掌握されている現代に於ける情勢に抗することは至難なことに違いないが、眞の論争は常にあり得るべきである。彼が

# 抜き書き的走り書

「人間」六月号に発表されて居る平塚富雄の「現代における不寛容」というエッセイは、いろいろの意味でボク達が味あうべき問題を含んでいる様に思われる。彼のこの呼びは同時にまたボク達の呼びでもあるからである。現在がインフレ・ポク達(不寛容)の時代である。この根拠を彼はトインビーの言葉を引用して説明し、その可否は別として、人間の進歩過程の一環である。歴史的な流動を考へるとき、ボク達は現代に於ける多くの偏見思想を発見する。この通信報道の機関のすべてが時の権力に掌握されている現代に於ける情勢に抗することは至難なことに違いないが、眞の論争は常にあり得るべきである。彼が

「人間の進歩過程の一環である」と云い、「要するに徹底的な意志が一面性と偏狭を底の志向するものである」と云う。これは現代の多岐にわたる個性の発露である。その根拠を彼はトインビーの言葉を引用して説明し、その可否は別として、人間の進歩過程の一環である。歴史的な流動を考へるとき、ボク達は現代に於ける多くの偏見思想を発見する。この通信報道の機関のすべてが時の権力に掌握されている現代に於ける情勢に抗することは至難なことに違いないが、眞の論争は常にあり得るべきである。彼が

# 書評

「人間の進歩過程の一環である」と云い、「要するに徹底的な意志が一面性と偏狭を底の志向するものである」と云う。これは現代の多岐にわたる個性の発露である。その根拠を彼はトインビーの言葉を引用して説明し、その可否は別として、人間の進歩過程の一環である。歴史的な流動を考へるとき、ボク達は現代に於ける多くの偏見思想を発見する。この通信報道の機関のすべてが時の権力に掌握されている現代に於ける情勢に抗することは至難なことに違いないが、眞の論争は常にあり得るべきである。彼が

「人間の進歩過程の一環である」と云い、「要するに徹底的な意志が一面性と偏狭を底の志向するものである」と云う。これは現代の多岐にわたる個性の発露である。その根拠を彼はトインビーの言葉を引用して説明し、その可否は別として、人間の進歩過程の一環である。歴史的な流動を考へるとき、ボク達は現代に於ける多くの偏見思想を発見する。この通信報道の機関のすべてが時の権力に掌握されている現代に於ける情勢に抗することは至難なことに違いないが、眞の論争は常にあり得るべきである。彼が